

※詳しくは☎にお問い合わせください。

広報あらか 1月号をあなたの笑顔の写真で飾りませんか

☎ 秘書広報課戦略広報室
☎ 63-1157

平成30年1月号の広報あらかの裏表紙に掲載する笑顔の写真を募集します。携帯電話やデジタルカメラなどで撮影した笑顔の写真をメールで送ってください。年齢制限はありません。

◆注意事項◆

- ①応募多数の場合は抽選となることがあります。また、掲載に不適切と判断されるようなお写真は掲載しないことがあります。また、抽選に漏れた写真を広報紙でイメージ写真として使用することがあります。
- ②掲載写真の大きさは応募数で変動します。素敵な笑顔の写真は大きく掲載することがあります。
- ③被写体の了承を得た上で、ご応募ください。
- ④顔をアップで撮影してください。
- ⑤被写体一人につき応募は1回のみです。
- ⑥画像加工アプリなど（特殊効果や文字の挿入など）を使用した作品は掲載できません。

- 対象 市内に住む人、市内に通勤・通学する人、荒尾市出身の人（市外在住者を含む）
- 応募期限 11月30日(木) ●テーマ 笑顔
- 作品形態
 - ・一枚につき一人の笑顔の縦写真
 - ・データ容量：2MB以内
- 応募方法
 - 投稿者の①住所②名前③電話番号④被写体の名前⑤市外の方は被写体の荒尾市との関係を記入し、メールでご応募ください。
- 応募先 kouhou@city.arao.lg.jp
 - ※メール到着後、2～3日以内に受付メールを送信します。応募後、1週間しても受付メールが届かない場合は、ご連絡ください。
 - ※上記メールアドレスから返信を受信できるよう、設定をお願いします。

11月は児童虐待防止推進月間です

☎ 子育て支援課給付相談係
☎ 63-1417

虐待から子どもたちを守るために、地域に住む私たちの目配り、気配りが必要です。虐待を受けたと思われる子どもがいたら、県中央児童相談所か子育て支援課へご連絡ください。

身体的虐待…殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせるなど

性的虐待…子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にするなど

ネグレクト…家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かないなど

心理的虐待…言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるうなど

相談窓口・連絡先
◆児童相談所全国共通ダイヤル (☎ 189)
◆熊本県中央児童相談所 (☎ 096-381-4451)

岱志高校の学生さんがインターンシップにやってきました



普通科2年 久米春樹
理科部では部長も務める

9月12～14日の3日間、広報あらか作成のインターンシップに来てくれました。広報担当者と一緒に、小学校の取材、こくんぞさんの取材などを体験。FMたんととのスタジオ見学も行いました。最初は本格的なカメラなど触ったことがないと不安な様子でしたが、取材先では撮影に奔走し、インタビューなども積極的にしてくれました。この経験を糧に、素敵な社会人になってください。



▲久米君撮影のこくんぞさんの1枚。福銭を手にする人の生き生きとした表情をとらえています

市文化振興基金を活用しませんか

☎ 政策企画課企画統計係
☎ 63-1274

個 性的な地域文化の創造やまちづくりを行う団体の文化活動を支援します。

- 助成対象事業 ①～④のどれかで、1団体につき1事業申請できます。定例的な活動、営利目的の活動、政治・宗教活動などは対象外です。
 - ①活動発表事業 ②文化情報事業 ③人材育成・交流事業 ④その他の事業
- 助成対象 市内に住所か活動の本拠地があり、助成金の交付決定後に事業に着手し、今年度中に助成対象事業を完了できる見込みがある団体。
- 申込締切 11月30日(木)
- 助成する金額 当該事業に要する経費の2/3で限度額は50万円。
- ※入場料や補助金などの収入は、事業に要する経費から差し引きます。



▲市文化振興基金を活用して制作されたパンフレット

※食糧費、メンバーの旅費・賃金などは原則対象外です。

●助成金の交付時期 事業完了後に交付。市が適当と認める場合は、概算払い（前払い）ができます。

荒尾市文化振興基金では、皆さんからの寄付金を積み立て、地域団体の文化活動事業への助成などに役立てています。文化振興のためにぜひ寄付をお寄せください。

地域おこし協力隊 活動便り Vol.16

荒尾の魅力、荒尾の情報をFacebook、Instagramで発信中



荒尾市地域おこし協力隊 Facebook



荒尾市地域おこし協力隊 Instagram

荒尾市地域おこし協力隊の隊員は、最長3年の任期のもと、荒尾の魅力を知り、その魅力を伝え広げる活動を日々行っています。毎月2名ずつ交代で、主な活動内容や活動予定を語っていただきます。

◆白井恒良隊員 (平成28年1月着任/広報担当)

10月から地域おこし協力隊のFacebookで「荒尾のプロフェッショナル」という記事を連載しています。その最初の取材は結婚式の前撮り写真を撮るチーム。荒尾駅などに貼ってある印象的なポスターに以前から興味があり、取材させていただきました。撮影では、マネージャー、衣装、メイク、カメラの約5人が動きます。各々が自分の仕事を手際よくこなし、それ以外の仕事も補完しあい、現場の良い雰囲気づくりにも貢献していました。結婚式の前撮りという分野を超えていろいろと勉強になりました。今後も、「正に荒尾のプロフェッショナル」という人を取り上げていきます。



▲前撮り時の一コマ。仕事の進め方、雰囲気作り方は大変参考になります



▲土地の神様に収穫を祈願しました

▲畑に出ていると季節の移り変わりを肌で感じます

◆前田道範隊員 (平成28年3月着任/農業振興担当)

秋分の日が過ぎた頃に社日という土地の神様に感謝する日があります。社日は、産土神を祀る日で、年に2回、春と秋に訪れます。春は種まきの時期、秋は収穫期に重なることから農業を行う人にとっては、大切な節目の日です。秋の社日には無事に作物を収穫するための祈願が行われてきました。私も小岱山にある土地の神様に祈願してきました。お百姓さんの神様ともいわれ、地域の人たちから大事に守られてきた神様です。地域の人には農作業、地域の文化や歴史などいろいろな事を教わり、可愛がってもらえることに感謝したいです。